

第5学年 算数科学習指導案

令和3年10月7日(木) 第2時限

1 単元 面積(本時2/13)

2 本時の目標

三角形の面積の求め方を図や式、言葉を使って説明できる。(思考・表現)

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	1 前時の復習をし、前時との三角形の違いに気づく。 ・直角三角形とは違う三角形 ・直角がない三角形	・発問「昨日の三角形と違うところはあるか」と問う。 ・前時の三角形と何が違うのか視覚的に判断できるように、2枚の三角形を並べて提示する。
課題 (2)	2 本時の学習課題を把握する。	・課題を提示する。
三角形の面積の求め方を考えよう		
展開 (33)	3 面積を求める見通しを立てる。 ①角を切ったり動かしたりして形を変える ②三角形を2つに切って直角三角形を作る  4 <u>三角形の面積を求める。(丸自)</u> ①2つの直角三角形で求める 式) $4 \times 4 \div 2 = 8$ $4 \times 2 \div 2 = 4$ $8 + 4 = 12$  ②三角形を切って移動させ、長方形にして求める 式) $4 \div 2 = 2$ $2 \times 6 = 12$  ③2つの三角形に分け、それぞれ長方形の半分になることを使う 式) $4 \times 6 \div 2 = 12$  5 3つの面積の求め方で似ているところを発表する。  ・長方形の面積を使って考えている ・どんな三角形でも長方形の面積の半分の大きさで求めることができる	・前時の考え方を思い起こせるよう、前時で使った解き方の図を掲示しておく。 ・面積の求め方に数字を書き、求める順番を提示する。 <u>発問「三角形の面積の求め方を考えてみましょう」</u> ・面積の求め方の見通しがもてるように、みんなで考える場を設ける。 ・図形を使って実際に切ったり、動かしたりして、面積の求め方を考えることができるように、コピーした三角形を配る。 ・面積を求めることができることができる子に対して2枚、3枚とプリントを渡す。 ・③の求め方が出なかった際は教師が式を提示し、どのように考えたかを問う。 ・求め方がより明確になるように、互いに説明する場を設ける。 ・言葉で説明できるようにするため、三角形をどのように見たのかを明確にした後、どんな式を立てたかを板書する。 ・発問「3つの求め方で似ていることはあるかな」と問う。 ・振り返りで子供たちが参考にできるように「長方形」「半分」などのキーワードを目立つように板書する。
整理 (5)	6 <u>三角形の面積の求め方をまとめる。(花丸自)</u>  ・三角形の面積を求める時には、三角形を囲む長方形の面積の半分という考え方をすることが大切であることが分かった。	<u>発問「三角形の面積を求めるにはどうすればいいですか」</u>  ・3つの求め方で似ている点に帰着できるように、机間指導を行い、板書のキーワードに着目するように助言する。

4 評価

どのような三角形も長方形の面積の半分になることに気付くことができたか。

(活動4, 6のノート・発言から)